

やさしい日本語」の手引き

外国人に伝わる日本語

情報をその場ですぐに伝える!



? 外国人には分かりにくい日本語も…

土足厳禁

! 「やさしい日本語」にすると外国人にも分かりやすくなります

靴をぬいでください

入園の際には、必要な用品を購入し、準備をしていただきます。

幼稚園に行くために、必要なものがあります。あなたの子どもが幼稚園に入るときには、それを買ってください。

「やさしい日本語」について

*「やさしい日本語」とは？

- 難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のこと

*なぜ日本語で？ なぜ「やさしい日本語」が便利？

- 外国人に分かりやすい
島根県にいる外国人に対して、必要な情報を全ての母語に翻訳して伝えることは不可能です。簡単な日本語であれば理解できるという人は多いので、「やさしい日本語」がとても効果的です。
- 日本人にも分かりやすい、使いやすい
ポイントを押さえれば、だれでも使うことができます。
また、子ども、高齢者、障がい者の方などにとっても分かりやすいコミュニケーション手段の一つです。

*どんなときに使う？

- 災害時・緊急時（急病・ケガ・事件等）
翻訳する時間がなく、急いで情報を伝えないといけないとき
- 平常時
自治体や町内会からのお知らせ、学校からの便り、窓口での手続きなど

memo

「やさしい日本語」ができたきっかけ

阪神淡路大震災のとき、外国人被災者のために、英語での情報提供が発災から半日後に始まりました。しかし、英語が分からない人が多かったため、英語だけでは限界がありました。外国人に確実に情報を伝えるためには、母語を使うのが最も有効ですが、それぞれの言語への翻訳には時間がかかってしまいます。特に災害時は、発災後「72時間」が生死を分けると言われており、速やかに情報を伝達する必要があります。

そこで、外国人に災害情報を「迅速に」「正確に」「簡潔に」伝えるために、弘前大学・社会言語学研究室により考え出されたのが「やさしい日本語」です。今では、災害時だけでなく、普段のコミュニケーションにも使われるようになりました。



「やさしい日本語」の作り方

POINT

文・語彙

単語や文の構造を簡単に、分かりやすく！

情報

必要に応じて説明を加え、相手に理解しやすく！

1 伝える情報を選択し、必要に応じて補足説明をする

一語一句を元の文に対応させて作るのではなく、伝えるべきことは何かを考え、受け手にとって必要な情報にする

2 一つの文を短くし、簡単な構造にする

主語と述語を明確にする

たとえば

「○○であり、▲▲なので、」 → 「○○です。▲▲です。だから、」

3 難しい言葉は、簡単な言葉に言い換える

たとえば

今朝 → 今日きょうの朝あさ

※ただし、災害用語や日常生活でよく使うことばなど、知っておくとよいことばはそのまま使い、ことばの後に説明を加える

たとえば

余震 → 余震よしん(あとからくる地震じしん)

4 曖昧な表現は使わない

たとえば 「おそらく」「たぶん」「思われます」などは避ける



5 文末は、なるべく統一する

「です」「ます」「してください」形にする



6 漢字にはルビ(ふりがな)をつける

漢字の上や下、漢字の後ろにかっこ書きでつける

たとえば 「地震じしん」「地震じしん」「地震(じしん)」

7 その他

●発音や意味が原語と異なる場合があるので、カタカナ外来語はなるべく使わない、ローマ字はなるべく使わない

たとえば 「デマ」 → 「うその話はなし」

※ただし、日常的に使われる単語や、他の単語で言い換えられないものは、そのまま使う(「ラジオ」、「テレビ」など)

●擬態語(「めちゃめちゃ」、「ふらふら」等)や擬音語(「ゴロゴロ」等)は使わない

たとえば 「めちゃめちゃです」 → 「壊こわれています」

●二重否定は使わない

たとえば 「行かないわけではないです」 → 「行いきます」

●動詞を名詞化したものは、できるだけ動詞文にする

たとえば 「揺れがあった」 → 「揺ゆれた」

●文節で区切って余白を入れ、「分かち書き」にする(特に全文ひらがなの場合)

たとえば 「明日再度お越しください」
→ 「明日あした もう一度いちど 来きてください」

●元号（令和・平成等）は西暦に、年月日は「/」は用いない。方言は標準語にする

たとえば 「R4/10/12」 → 「2022年10月12日」

●時間は12時間表示にする

たとえば 「15時30分」 → 「午後3時30分」

◎「やさしい日本語」に正解はありません。なぜなら、「やさしい日本語」を使って伝えるべき内容は相手によって変わるからです。日本語能力や日本の文化習慣・地理・社会等についての知識が一人一人ちがうため、その人にとって必要な情報は何かを考えながら伝えることが大切です。

◎文字で伝えるときは、読みやすい書体にします。

◎会話で伝えるときは、身ぶり手ぶりで示したり、ゆっくりはっきりと言います。

◎絵・写真・図を入れたり、実物を見せると、より分かりやすくなる場合があります。



「やさしい日本語」を作ってみよう！

練習①

単語・簡単な表現

- ①記入する、記載する
- ②相談窓口
- ③両親
- ④無料
- ⑤レンタサイクル
- ⑥ここは通行止めです。
- ⑦少々お待ち下さい。
- ⑧料金前払い

元の単語・表現

「やさしい日本語」にすると

- ①書きます
- ②相談できる ところ、相談する ところ
- ③お父さんと お母さん
- ④お金は いりません。(タダです。)
- ⑤自転車を 借りる
- ⑥ここは 通ることが できません。
- ⑦少し 待って ください。
- ⑧先に お金を 払います。

練習②

文

- ①下記のハガキ用紙にご記入の上、切り取って投函してください。
- ②台風の影響で松江～大田間は現在JRが不通となっております。
- ③ご参加くださいますようお願い申し上げます。

元の文

「やさしい日本語」にすると

- ①下の ハガキに 書いて ください。そして 切り取って、郵便ポストに 入れて ください。
- ②台風のため、松江駅～大田市駅の 間は、今電車が 止まっています。
- ③参加して ください。

練習③

文章

- ①今朝、5時32分、中国地方で強い地震がありました。気象庁は今後も最大で震度5までの地震が起きる可能性があるとして注意を呼びかけています。
- ②病院で妊婦と診断を受け出産予定日の確定後、〇〇課で母子健康手帳をもらってください。

元の文章

「やさしい日本語」にすると

- ①今日の 朝 5時32分 中国地方で 大きい 地震がありました。この後も 大きい 地震が くる かもしれません。注意して ください。
- ②病院に 行きます。あなたの 赤ちゃんが 生まれる 日が わかったら、(市役所の △階の) 〇〇課に 行きます。母子健康手帳を もらいます。



比べてみよう!

外国人、子ども、高齢者などにとって、分かりやすいのはどれですか?

1 普通の日本語

PM2.5濃度が暫定的な指針となる値を超えた場合には、その吸入を減らすため、屋外での長時間の激しい運動や外出をできるだけ減らすことは有効です。特に呼吸器系や循環器系の疾患を有する者、小児、高齢者などは、より影響を受けやすい可能性があるため、普段から健康管理を心がけるとともに、体調の変化に注意することが大切です。

2 「やさしい日本語」

1日のPM2.5の量が、 $70\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えたときは、外に出ることをできるだけ少なくしましょう。そして、外での長い時間の激しい運動はできるだけ少なくしましょう。病気(呼吸器や循環器)の人、小さな子ども、お年寄りの方は、体調に気をつけましょう。

3 「やさしい日本語」(箇条書きの場合)

1日のPM2.5の量が、 $70\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えたとき

- 外に出ることをできるだけ少なくしましょう。
- 外での長い時間の激しい運動はできるだけ少なくしましょう。
- 病気(呼吸器や循環器)の人、小さな子ども、お年寄りの方は、体調に気をつけましょう。

日本語に不慣れな外国人は、日常生活の中で、例えば「学校の便りが読めない」、「転居の手続きをしたいけど分からない」など、不安を感じたり、したいことができなかつたりします。

彼らに対して、情報を母語に翻訳して伝える方法もありますが、「やさしい日本語」を使って伝えることもできます。情報が伝わると不安が減り、自分で解決できることが出てきます。

普段から「やさしい日本語」で情報伝達・やりとりをすることは、災害時や緊急時に役立ちます。

- 「やさしい日本語」は、小学校2・3年生で習うくらいの簡単な日本語(読み書きが難しい漢字と、ひらがな・カタカナでの日本語)で、日本語能力試験のN4・N5レベルです。
- 行政文書などの日本語を翻訳するとき、原文のままでは外国語に翻訳しにくいことがあります。「やさしい日本語」で一旦分かりやすい内容にすることにより、翻訳しやすくなります。
- 「やさしい日本語」は、情報を伝えるための手段のひとつです。使う言葉を絞り込み、文を短くするため、情報が限られます。情報を確実に伝えるためには、母語等の外国語にきちんと翻訳をして伝えることが大切なときもあります。



ここも見てください!

「やさしい日本語」の参考サイト

- NHK NEWS WEB EASY
<https://www3.nhk.or.jp/news/easy/>
やさしい日本語のニュース
- やんしす(「やさしい日本語」支援システム)
<http://www.spcom.ecei.tohoku.ac.jp/aito/YANSIS/>
やさしい日本語作成を支援するソフト
- やさになちチェッカー
<http://www4414uj.sakura.ne.jp/Yasanichi1/nsindan/>
岩田一成、森篤嗣、松下達彦、中島明則(2015)
- 法務省「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」
https://www.moj.go.jp/isa/support/portal/plainjapanese_guideline.html
特に書き言葉に焦点を当てたガイドライン
- 島根県「外国人のみなさまへ」
<https://www.pref.shimane.lg.jp/bunkakokusai/tabunka/gaikokujinnsien/>
島根県からのお知らせ(多言語のサイト)
- しまね国際センター
<https://www.sic-info.org/>
この手引きをダウンロードすることができます

「やさしい日本語」の手引きについてのお問い合わせは



島根県環境生活部文化国際課

〒690-8501 島根県松江市殿町1 TEL 0852-22-6470



公益財団法人しまね国際センター

〒690-0011 島根県松江市東津田町369-1 TEL 0852-31-5056